

# 学部生・院生・教員ごとにセグメント分けされた 学修環境の先駆け

Learning Grid (学部生) / The Wolfson Research Exchange (院生) / Teaching Grid (教員)



Teaching Grid 内観 教授法に関する書籍や授業用の映像コンテンツ制作設備等が備わる

## 【ポイント】

### セグメントごとにカスタマイズされた 学修環境

#### 学部生・院生・教員の活動に合わせた空間整備

- 学部生・院生・教員、それぞれのための、ワークスペースとコミュニティスペースを組み合わせた専用エリアを整備。
- 学部生と院生については個人学修スペースへの要望が高いことをうけて PC 席を豊富に配置。

#### マルチメディア設備と活用サポートの充実

- Teaching Grid 内には、授業用のマルチメディア機器が集約されており、教材作成や授業における活用方法について、Teaching Grid スタッフからサポートを受けながらスキルアップを行う。
- Learning Grid において、スタッフからマルチメディア機器の活用支援を受けてビデオ画像課題等に取り組む活動が行われている。



Learning Grid  
最新施設は学部生のニーズに応え個人学修スペースを 300 席設置



The Wolfson Research Exchange 横の PC クラスタ  
院生向けの個人学修スペースを豊富に設置

## 整備の効果

### 新たなことに挑戦できる場の提供

- 教員は、Teaching Grid を利用することで、新しい試みに気負いなく取り組み、しかも仲間からの助言や支援を受けながら内容をブラッシュアップできる。

### 学部生の創造性を育成

- Learning Grid には、映像制作のためのマルチメディアスタジオがあり、学部生は課題としてビデオ画像の制作を盛んに行っており、成績評価の多様化と学部生の創造性の育成につながっている。

### 利用者からの信頼が、施設・サービス改善につながっている

- スタッフは、学部生・教員・院生それぞれの専任として施設管理やサービスに従事し、日々の活動の中で利用者と密接に関わり、信頼されている。そのため利用者ニーズを正確に把握しており、サービス向上や施設整備の改善につなげていくことができる。

## 整備の背景・目的

### Learning Grid

- 創造的な学部生を育成することを目標としており、創造性を生み出すためには柔軟な発想が必要であり、柔軟な発想は柔軟なスペースにおける協働作業から生まれるという理念が背景となっている。
- フレキシブルでグループ活動がしやすい学修スペースへのニーズを受けて、英国内では他校に先駆けて2005年大学の管理棟内に設置された。

### Teaching Grid、 The Wolfson Research Exchange

- グループ学修のためのスペースが整備された後も、授業におけるアクティブラーニングをより多くの科目に広げることや、院生同士のコミュニケーションの活性化が課題となっていた。
- このため、2008年メインライブラリーの改修に伴い教員の授業スキルの向上のための Teaching Grid と院生のための専有スペースとして The Wolfson Research Exchange が設置された。



最初に整備された管理棟内にある Learning Grid  
週7日24時間開館

## 更なる展開

### 学際的な教育研究の推進

- ウェスト・ミッドランド州の郊外に2.8 km<sup>2</sup>の広大な敷地を有し、現在もキャンパスのあちこちで研究・教育施設が建設中である。
- 2016年に開設予定の講義・学修棟は、学部を超えた全学共通の施設であり social learning の推進をコンセプトに掲げ、学際的な教育研究の推進につながることを期待している。